

太平洋・瀬戸内海・日本海縦断技術士会(香川大会)開催報告

香川県技術士会事務局

はじめに

太平洋・瀬戸内海・日本海縦断技術士会は、島根県技術士会、鳥取県支部、岡山県支部、香川県技術士会及び高知県支部の5県技術士会が持ち回りで毎年開催している交流事業です。

令和8年度は香川県技術士会が主管し、令和8年10月3日(土)に高松市において開催しました。

当日は天候にも恵まれ、島根県8名、鳥取県2名、岡山県13名、高知県5名、香川県37名の計65名が参加し、「熱い思いと未来への戦略をもって地域社会に貢献」をテーマに発表会、見学会及びレセプションパーティーを開催しました。

第1部 発表会

発表会には64名が参加し、安西慎会長の開会挨拶の後、各県代表による発表と質疑応答を行いました。

島根県からは守山基樹氏(株式会社エブリプラン)より「古民家を読み解くー地域の履歴は、これからの社会に何を語るのかー」と題し、古民家調査を通じた地域資源の発掘と活用について発表いただきました。

鳥取県からは平尾繁和支部長より「鳥取県支部の活動報告」として、支部活動の取組状況について発表いただきました。

岡山県からは真木久幸氏(津山市都市建設部都市基盤整備課)より「データによる戦略をもって道路ネットワークの効率化に貢献」と題し、データを活用した道路行政の取組について発表いただきました。

地元香川県からは尾幡季之氏(香川県土木部次長)より「サンポート高松の歩みと更なる賑わいに向けて」と題し、サンポート高松の整備の経緯や今後の展望について発表いただきました。

高知県からは河野一郎氏(高知県支部幹事)より「地域の未来を『創る』『診る』『守る』」と題して、地域課題に対する技術士の役割や取組について発表いただきました。

各発表とも地域に密着した内容であり、活発な質疑応答を通じて参加者相互の交流と知見の共有が図られました。



写真-1 発表会

第2部 見学会

見学会には62名が参加し、参加者を2班に分けてサンポート高松及び丸亀町グリーンを見学しました。

サンポート高松では、環瀬戸内海圏の玄関口として進められてきた開発の歴史や、現在進行中の再整備計画について香川県の方より説明頂きました。

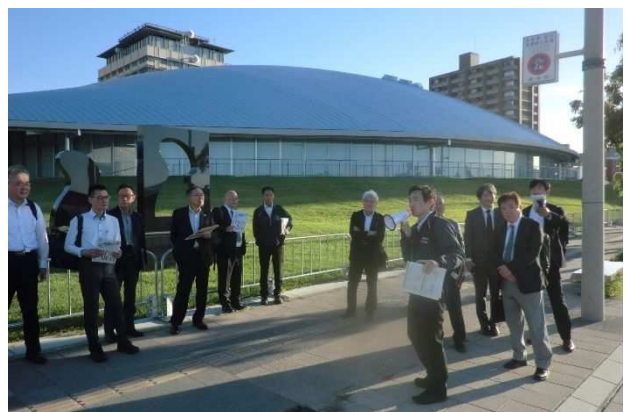


写真-2 見学会(サンポート高松会場)

また、丸亀町グリーンでは、全国的にも先進的な中心市街地再開発事業について、街なか居住の推進や商業機能との調和を図ったまちづくりについて高松市の方より説明頂きました。



写真-3 見学会(丸亀町グリーン会場)

見学先でも多くの質問が寄せられました。それぞれ計画に直接携わっている方の生の声を聴くことにより、参加者にとって実りある習学の機会となりました。

レセプションパーティー

レセプションパーティーはレストラン「ミケイラ」において開催し、56名が参加しました。

来賓として香川県知事の池田豊人様、香川県議

会議長の氏家孝志様に、ご臨席を賜りました。

パーティでは、香川県技術士会 安西会長の挨拶に続き、池田知事からご祝辞を賜り、氏家議長のご発声により乾杯を行いました。

歓談では県域や専門分野を超えた交流が行われたほか、各県から活動報告を兼ねたスピーチがあり、それぞれの近況や取組について情報交換が行われました。

おわりに

本大会は、多くの皆様のご協力により盛会のうちに終了することができました。

ご参加いただいた皆様、ご発表の皆様、見学会でご説明をいただきました香川県、高松市の皆様、ご公務等ご多忙の中ご臨席頂きました来賓の皆様

に厚く御礼申し上げます。
レセプションパーティーでは、次回開催県である高知県支部の中根久幸支部長からご挨拶をいただき、来年度の高知大会での再会を約して全日程を終了しました。

今後も5県技術士会相互の交流をより一層深め、技術を持って己々が地域社会の発展に貢献していきたいと考えています。



太平洋・瀬戸内海・日本海縦断技術士会（香川大会）
令和8年10月3日